



〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町2471-48

電話・FAX 045-410-7307

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家とともに 3月担当：溝口

お味噌の季節



暦の上では春がやってきましたが、雪がちらつくなど、まだまだ寒い日が続いております。そんな中、あちらこちらの庭先では梅の花が開花する光景も見られ、着実に春の足音が聞こえてきている今日この頃です。

さて、春の訪れを日々感じながら、今年も味噌作りの季節がやってきました。数日に分け、トータルで約15Kgの味噌を仕込みました。

柔らかく煮た大豆を左の写真のような豆挽きにかけて、つぶした大豆を塩と糀(こうじ)を混ぜていきます。

豆の煮汁で固さを調節しながら、みなさんにご協力頂き、力を振り絞って一生懸命まぜていきました。

あるご利用者の方は「わたしは今まで(味噌を)作った事はないけど楽しかった。きっとこれはおいしく出来るわよ」と話していました。



左の写真の男性ご利用者は「これは結構力があるなあ。」と話しながら、パワフルに混ぜて下さいました。

圧力鍋や豆挽きを貸して下さった方、味噌作りにご助力下さった皆様本当に感謝いたしております。今年の味噌も、きっと良い味に出来る事でしょう。



みなさんのお陰で...

突然ですが、左の写真。私(溝口弘)が作りました。



数か月前。洋裁の専門学校を卒業し、色々な方に洋服の作り方を教えている方がデイサービスを利用する事になりました。私の母も洋裁の専門学校出身で、私が学生の頃は紳士服の袖の直しや裾上げなどの仕事をしていたことがありました。その母の姿を見て、洋裁の難しさは実際に見聞きし、知っていました。しかし、折角教えて頂ける環境がありながら、それを放っておく手はないと思い始めました。その方とお話をしている中で、だんだんと私も何か作ってみたいと感じるようになりました。しかし、今まで針も糸も小学校の家庭科の時間でしか触った事のない、そんな私が洋服を作ることなんて到底不可能です。そんな私にも何が作れるか…。「洋裁も和裁もひと通り習った」という言葉から、ある考えがひらめきました。浴衣ならば、作れるかもしれない。しかも、子どもの浴衣ならばもしかしたら…。昨年の11月に私の娘は七五三で、和服を着てお参りをしました。その時に、和服を着たことをとても喜んでいました。私が浴衣を作ったら、きっと子どもも喜ぶだろうな…。 (裏面へ続く)

(みなさんのお陰で…続き)

ある日、子どもを連れ、近所の図書館に行った時、簡単な浴衣作りの本があり、目を通しました。「本で予習しながら先生(利用者)に習えばできる」そう確信した私は、実家から小学校の頃にセットで買わされた裁縫箱を発掘し、妻のミシンも借りて、先生に教えてもらいながら製作を開始。「身八つ口ってどう読むの?」「“おくみ”って何?」そんな質問にも先生は嫌な顔一つせず、丁寧に教えて下さいました。先生は週1回の利用でしたが、デイに通われている方には和裁を知っている方が何人もいます。私が不器用な手つきで縫っていると横で「こうするんだよ」と親身になって教えてくれる先生がひとり、またひとり…。気が付けば合計で4名の先生方に手ほどきを受け、なんとか完成に漕ぎつけました。本は簡単な作り方のため肩当てや共衿は付いていませんでしたが、先生方のお陰で、“やっぱりつけた方がよい”と言う事になり、途中から無理矢理くっつけ、最終的にはより本式に近いものに出来上がりました。先生方以外にも皆さん気にかけて下さり、中には子供用の浴衣を“見本”として持って来て下さった方もいました。みなさん本当にありがとうございました。



デイサービスに来る方は私にとっては皆さんはただの利用者やボランティアではなく、私の先生であると思っています。これからも、みなさんと一緒に過ごしていく中でたくさんの事を勉強させていただき、学んだことを子へ、孫へ…と伝えていきたいと思っています。

行ってきました♪



冬は寒くて、家に閉じこもりがち。ただでさえ、体を動かすのも億劫で…。

そんな時は思い切って外に出て歩きましょう!!…という事で行ってきました。今は梅の開花の季節。まだ少し早いですが、広い公園内を一生懸命歩き、咲きはじめの梅も楽しむ事が出来ました。



ボランティアさん

善了寺に関わってくださっている沢山の方々にデイサービスは日々支えられています。事業所移転後にもご利用者の皆さまと心地よく過ごすことが出来ています。これも皆さまにご協力のおかげです。ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

中嶋芳江 安藤信子 竹中秀子 山下トキエ
西岡美都里 寺島美代 朝倉好子 別府与志子
濱崎芳子 市野和歌子 弓削福子
矢口和子 秦野雅子 米村正男 小寺久枝
江田峯子 中島雄子 村井ヒテ子 江尻伸子
牛島寛子 橋本淑子 長澤チヨ子
福寿貴美恵 犬塚照夫 松村節子
秦野宣子 大金スエ子 梅本忠男 小林ミエ
林ヨシ子 松田良子 森谷ミヨシ 山田ヒロ子
増村隆 穴山よしお 乾隆子 内田佐知子
砂川元枝 長岡綾子 吉高友子

敬称略

編集後記

先日、疲れて、少々ふさぎこんでいましたら、子どもが、「大丈夫?大丈夫…、南無阿弥陀仏…南無阿弥陀仏…」と、なぐさめてくれました。

また、授業参観で、将来の夢を発表するとき、「僕は、お父さんが話してくれる仏様の話に興味があり、一生懸命聞いています。そして、今度は自分の言葉で、仏様の話を多くの人に、伝えられるお坊さんになりたいです」と、堂々と話しました。まだ、12才の子どもに、ありがたいかな…南無阿弥陀仏と、合掌させていただきました…